



開室時間	9:30～16:15
直通電話番号	080-6629-6071
電話対応時間	9:30～16:45
開室時間や開室日に変更がある場合は、相談室前カレンダー等でお伝えします。	

<11月の予定>

日	月	火	水	木	金	土
10/27	10/28 SLC	10/29 SLC	10/30 SLC	10/31 SLC	1 県 SC	2
3 祝日	4 振替	5 SLC	6 SLC	7 SLC	8 県 SC	9
10	11 SLC	12 SLC	13 SLC	14 SLC	15 県 SC	19
17	18 SLC	19 SLC	20 SLC	21 SLC	22 ×	23 祝日
24	25 SLC	26 SLC	27 SLC	28 SLC	29 県 SC	30

青年期に起こること

ちょうど中学生くらい、具体的には13歳くらいから20歳くらいの期間を「青年期」と言います。人の発達に大切ではない時期などありませんが、青年期は特に大切にされてきた歴史があります。

ジャン＝ジャック・ルソー(1712～1778)という哲学者は「第二の誕生」、リタ・ホリングワース(1886～1939)という心理学者は「心理的離乳」と、青年期のことを例えました。青年期は、あなたはあなた、私は私と言えるようになっていく時期です。社会や周囲など他者が存在するところで、自分が確かに存在している感覚をつかんでいきます。



エリク・エリクソン(1902～1994)という心理学者は、青年期は「同一性(アイデンティティ)の獲得」が大切だと言いました。あなたはあなた、私は私と言うために、「私は私らしい人だ」と自信がある状態のことです。自分がはっきりしているから、自分と相手を区別して、自分も相手も尊重できるようになります。

しかし、青年期は急な変化が起きます。変化の度に、「私らしさ」のバランスを取り続けなくてはなりません。青年期には、「仲間」や「ロールモデル(目標になる存在)」が大切だとエリクソンは言いました。「私らしさ」を見失わないためには、周囲や社会の力を借りることが近道になることが多いです。

しかし、「仲間」や「ロールモデル」が身近で見つかりにくい変化が起こるかもしれません。そのような変化には、専門の相談機関が用意されていることが多いです。相談内容によって、相談相手を変えることはおかしいことではありません。悩み事は、安心して共有できる人がいるだけでも、解決に向かうことができます。心と身体のバランス感覚に違和感を覚えたら、カウンセラーを頼ってみても良いのかもしれません。

もちろん、「私らしさ」に関することだけではなく、どんな相談でも相談室は皆さんを歓迎します。

「相談室」は、保護者の方がお子様の気になることや心配事について、カウンセラーと一緒に考えていく場所でもあります。来校された際など、ぜひお立ち寄りください。面接予約はお電話でも受け付けております。(直通電話:080-6629-6071)